

# スキー競技実施要項

## 1. 競技

アルペンスキー競技とする。

## 2. 競技規則

大会開催年度の財団法人全日本スキー連盟（略称 SAJ）の競技規則及び全国ろうあ者冬季体育大会申合せ事項による。

## 3. クラスおよび種目

男子 A 級

男子 B 級

女子 A 級

以上のクラスは 3 種目を実施。大回転（試技 2 本）、回転（試技 2 本）、スーパー大回転（試技 1 本、但し希望者のみとする）

男子壮年

男子マスターズ

女子マスターズ

以上のクラスは 2 種目を実施。大回転（試技 2 本）、回転（試技 2 本）。

スキー場の事情により滑降競技は実施せず、スーパー大回転競技とすることもある。

## 4. 出場資格

男子 A 級、男子 B 級、女子 A 級は年齢制限なし。

男子壮年（35 歳以上）

男子マスターズ（50 歳以上）

女子マスターズ（40 歳以上）

## 5. 競技方法

種目ごとに試技合計タイムで順位を決める。

個人総合成績は各種目得点によるポイントの平均で順位を決める。

## 6. クラスの試技順

種目ごとにクラスの試技順を下記とおりとする。

スーパー大回転（S G S L）

1. 女子 A 級 2. 男子 A 級 3. 男子 B 級

大回転（G S L）

1. 女子マスターズ 2. 男子マスターズ 3. 男子壮年 4. 女子 A 級 5. 男子 A 級

6. 男子 B 級

回転（S L）

1. 女子マスターズ 2. 男子マスターズ 3. 男子壮年 4. 女子 A 級 5. 男子 A 級

6. 男子 B 級

## 7. 試技1本目のスタート順

1回目はゼッケン番号順による。

## 8. 試技2本目のスタート順

SAJ 競技規則第 621 - 10 に基づき、次のとおりに定める。

### 男子A級

同一種目で、1本目の成績上位15位までをリバーススタートとし、16位以下は1本目の成績順にスタートする。15位が2名以上の場合は、1本目スタート順と同順とする。

競技者が15名に満たない場合は、2本目も同じ数でリバーススタートとする。

### 女子A級、男子B級、男子壮年、男女マスターズ

同一種目で、1本目の成績上位5位までをリバーススタートとし、6位以下は1本目の成績順にスタートする。5位が2名以上の場合は、1本目スタート順と同順とする。

競技者が5名に満たない場合は、2本目も同じ数でリバーススタートとする。

## 9. 2本目試技の制限

試技1本目を終えた者が出場できる。但し、途中棄権及び失格となった者は出場できない。

試技時間不足と判断した時は、SAJ 競技規則第 806-2「2回目の制限」に基づき、2本目出場者を1本目上位25人以内とする。

## 10. スタート順のドロー

最終申込締切日後、1週間以内に競技主管と実行委員会でドローを行なう。ドローはダブルドロー方式とする。

### 男子A級

#### 1) 第1グループ

前回大会においてポイント(成績)を有する者で、種目別に上位15名を選出し、上位から順次でスタート順をドローする。同一種目で15位が2名以上の場合はこれを第1グループに含める。

#### 2) 第2グループ

前回大会においてポイント(成績)を有する者で、第1グループに入らなかった者とし、種目別にポイント上位から順次でスタート順をドローする。

#### 3) 第3グループ

前回大会においてポイント(成績)を有しない者、初めて出場する者とし、加盟団体ごとにスタート順をドローする。

### 女子A級、男子B級、壮年級、男女マスターズ

#### 1) 第1グループ

前回大会においてポイント(成績)を有する者で、種目別に上位6名を選出し、上位から順次でスタート順をドローする。6位が2名以上の場合はこれを第1グループに含める。

#### 2) 第2グループ

前回大会においてポイント(成績)を有する者で、第1グループに入らなかった者とし、ポイント上位から順次でスタート順をドローする。

#### 3) 第3グループ

前回大会においてポイントを有しない者、初めて出場する者とし、加盟団体ごとによるスタート順をドローする。

## 11. インспекション

インспекションは選手の他にチームキャプテン、コーチが参加できる。但し実行委員会交付のネームプレートを着用しなければならない。

## 12. 表彰

表彰は、各種目の試技終了後の 30 分後に行う。表彰は、各競技別・各クラス別に 1 位から 3 位までを賞状とメダルを授与する。

## 13. チームキャプテン会議

チームキャプテン会議出席者は、加盟団体チームキャプテン、コーチの各 1 名とする。また選手がこれらを兼任することもできる。

一般選手は、一切異議などは認めないが、傍聴はできる。

## 14. その他

試技中はストッパー着用を原則とする。

スーパー大回転及び大回転競技試技中はクラッシュヘルメットを着用すること。

・2005年2月27日

第7回全国委員会にて一部改正